

気候情報

2018年10月の日本の天候

- 北日本は気温がかなり高く、沖縄・奄美ではかなり低かった
- 東・西日本太平洋側では、降水量が少なかった
- 北海道地方と沖縄・奄美では、降水量が多かった

10月の天気概況

北日本では、上旬や下旬に南から暖かい空気が流れ込んで気温がかなり高くなり、月平均気温もかなり高かった。一方、沖縄・奄美では、月を通して北から冷たい空気が流れ込みやすく、月平均気温の平年差は -1.1°C とかなり低く、10月としては1986年（平年差 -1.1°C ）以来32年ぶりの低さとなった。北海道地方では主に上旬の台風第24号及び第25号から変わった低気圧に伴う大雨により、月降水量はかなり多かった。

上旬：北・東・西日本では、本州の南東海上で太平洋高気圧が強いことや相次ぐ台風の通過に伴って暖かい空気が流れ込み、旬平均気温はかなり高かった。特に6日には、三条（新潟県）で日最高気温が 36.0°C で10月として歴代全国1位の高温となるなど、旬の中頃は、東日本と西日本日本海側を中心に台風による暖かい空気の流入に加えてフェーン現象の影響で顕著な高温となった。

旬平均気温は、北・東・西日本でかなり高かった。一方、沖縄・奄美で低かった。

旬降水量は、北日本太平洋側と沖縄・奄美でかなり多く、北日本日本海側で多かった。一方、東日本で少なかった。西日本では平年並だった。

旬間日照時間は、東日本太平洋側でかなり多く、西日本太平洋側で多かった。一方、西日本日本海側で少なかった。北日本、東日本日本海側と沖縄・奄美では平年並だった。

中旬：西日本と沖縄・奄美では、北から冷たい空気が流れ込みやすく、旬平均気温は低かった。特に、沖縄・奄美では、旬平均気温の平年差が -1.9°C とかなり低く、10月中旬として2位の低温となった（統計開始は1961年、なお1位は1965年で平年差 -2.2°C ）。

旬平均気温は、沖縄・奄美でかなり低く、西日本で低かった。北・東日本では平年並だった。

旬降水量は、沖縄・奄美でかなり多く、東日本日本海側で多かった。一方、北日本日本海側と西日本太平洋側で少なかった。北・東日本太平洋側と西日本日本海側では平年並だった。

旬間日照時間は、東日本太平洋側と沖縄・奄美でかなり少なかった。北・西日本と東日本日本海側では平年並だった。

下旬：旬の終わりに北・東日本の日本海側で気圧の

谷や寒気の影響で曇りや雨となったほかは、全国的に高気圧に覆われやすかった。また、北・東日本では、旬の中頃にかけて南から暖かい空気が流れ込みやすく、旬平均気温は北日本でかなり高く、東日本でも高かった。

旬平均気温は、北日本でかなり高く、東日本で高かった。一方、沖縄・奄美で低かった。西日本では平年並だった。

旬降水量は、北日本と東日本日本海側で多かった。一方、東日本太平洋側と沖縄・奄美で少なかった。西日本では平年並だった。

旬間日照時間は、東日本太平洋側でかなり多く、北日本、西日本太平洋側と沖縄・奄美で多かった。東・西日本日本海側では平年並だった。

10月の気候統計

月平均気温：北日本でかなり高く、東日本で高かった。一方、沖縄・奄美ではかなり低かった。西日本は平年並だった。

月降水量：東日本太平洋側でかなり少なく、西日本太平洋側で少なかった。一方、北日本日本海側ではかなり多く、北日本太平洋側と沖縄・奄美で多かった。東・西日本日本海側は平年並だった。

月間日照時間：北日本日本海側と西日本太平洋側で多かった。一方、沖縄・奄美では少なかった。北日本太平洋側と東日本、西日本日本海側は平年並だった。

（気象庁観測部情報管理室）

10月の記録（1位更新なし）

2018年10月の平年差（比）図

